

令和元年台風第 19 号による被害対応について

1. 被害状況（総務省消防庁 12 月 5 日 17：00 発表）

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu19gou62.pdf>

2. 各地の情報共有会議（12 月 6 日現在）

地元の団体を中心に各地で支援関係者による情報共有会議が開催され、各自の活動を通じた課題を共有し、それらの解決を図っています。JVOAD も各地の情報共有会議に参加し、行政や災害 VC、NPO や企業と連携して課題解決に向けた調整を行っています。

福島県いわき市、栃木県宇都宮市、宮城県丸森町では、市町域で活動している支援団体による情報共有会議も行われています。

3. 各被災地の状況・課題について

JVOAD として、各地にスタッフを派遣しながら、地元のネットワークとの連携や情報共有会議から支援状況や課題の全体像の把握に努めています。復興フェーズの変化に伴い、これまでの被災地で起きた課題なども伝えながら、制度と民間の支援の調整を関係団体と連携しながら進めています。また、12 月 3 日には東京都災害ボランティアセンターと合同で、第 2 回全国情報共有会議【拡大版】を開催し、被災地で活動している団体から現状と課題を伺いました。

岩手県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて NPO 災害支援ネットワーク（INDS）と連携して状況確認 ・通常ボランティアセンターで相談対応をしている地域もあるが、災害ボランティアセンターとしては、12 月 1 日で全て閉所 ・今後、岩手県、岩手県社会福祉協議会、INDS の 3 者にて活動の振り返りを実施していく ・県内の大学生や地域住民向けに、技術系講習会（床下対応等）を実施予定 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒と床下・壁対応
宮城県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 17 日より災害 VC 支援連絡会議が行われており、行政、社会福祉協議会、地元の間支援組織、NPO などが参加、被害が甚大な丸森町では支援関係者による町域の情報共有会議も行われている ・丸森町では、専門家も協力しながら戸別調査を検討しているが、なかなか地元だけでは難しい現状がある <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下・壁対応への地域差がある → 講習会の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅避難者の実態が把握できていない ・丸森町では、土砂・瓦礫の流入が多すぎて、撤去がなかなか進んでいない そのため、インフラ自体の原状復帰の目途がつかない ・生活再建のための情報が住民に届いていない、今後の見通しを示していく必要がある ・今後、技術系の支援や見守り、サロン活動なども必要になってくるが、サポートできる人員がいない
福島県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま連携復興センターの呼びかけで10月16日から情報共有会議を開催し、いわき市でも10月31日から毎週木曜日にはいわき市社会福祉協議会、行政、NPO等による「いわき市支援者情報共有会議」が行われている ・福島市で、福島県・福島県耐震化・リフォーム推進協議会主催で、「水害にあった浸水家屋の適切なリフォーム」に関するセミナー・相談会を実施、70名程度が参加（業者の方が中心、住民は10名程度）、ほか伊達市等でも実施 ・福島市では、災害廃棄物の受け入れが終了、今後は一般ごみか産業廃棄物扱い ・いわき市の12月5日時点の避難所は、5か所、101名 ・12/15にいわき市の災害廃棄物仮置き場が閉鎖、またゴミ出しのための車両貸し出しも終了予定 ・支援団体による家屋保全講習会が、いわき市内で12月11日（水）/21日（土）に実施予定 ・地元のFMいわきが、毎週木曜日に開催されているいわき市の情報共有会議で共有された炊き出しや講習会などの情報を発信してくれることになった <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下、壁剥がしへの対応 ・いわき市では行政が消毒対応を始めているが、泥出しまでは各自で対応が必要 なため、住民への周知、実際の泥出し対応、時期的な面で調整が必要 ・寒さ対策が必要 ・在宅避難者の状況把握ができていない
栃木県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県の呼びかけで10月16日に情報共有会議が開催され、行政、社会福祉協議会、地元の中間支援組織等、地元団体を中心に開催、テーマごとに課題を共有し、解決を図るように会議を進めている（避難生活、床下対応、民間VCなど） 宇都宮市でも市域の情報共有会議が週1回程度で開催されている ・がんばろう栃木！復興ネットワークのサイトが開設されている 様々な支援情報や技術系講習会、サロンのお知らせなどが発信されている https://ganbarotochigi.sakura.ne.jp/ga/ ・栃木市にて、地元NPO協力のもと、カーシェアリング協会が車両の貸し出しを始めている

	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下対応への地域差が出ている、技術系の支援がほとんどないので、講習会などを行っていく予定 ・行政・社協後援で、民間主体の「暮らし復興支援センター」が設置されているが、中間支援としてコーディネーションできる人が不足している、外部支援も必要
茨城県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県社会福祉協議会、茨城 NPO センター・コモンズ主催で、災害支援いばらきネットワーク会議（情報共有会議）を1週間に1回程度開催 ・協働型のサロンとして「ぬくもりを届けるプロジェクト」を各地で実施予定、地域の方に丁寧に説明しながら、調整を行っている ・大子町では、社会福祉協議会がニーズ調査を実施し、被災住民の状況把握に努めている ・取り残されている方や声をあげられていない人がいないか、地元と協力しながら確認していく必要がある <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床下対応、壁などのカビ対応
埼玉県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」主催で、10月16日から情報共有会議を実施、彩の国会議メンバーを中心に定期的に情報共有している ・東松山市では、週末型の災害ボランティアセンターで対応 ・今回の災害対応での課題の振り返りを実施していく
千葉県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風15号による屋根被害に加え、台風19号でブルーシートの多くが剥がれたことを受け継続して対応を行っている ・JVOADとしては、千葉県社協、千葉南部災害支援センター、技術系支援団体等と連携し、今後の地元支援者、住民向けの講習会の調整を行っている ・12月1日から、高速道路無料措置の手続きが変更になっている <p>事前にボランティア活動証明書の発行を受け、最寄りの行政窓口で「災害派遣等従事車両証明書」の証明を受ける</p> <p>千葉県ホームページ https://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/shingikai/kokuminhogo/boranthia.html</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨漏りによるカビが発生している ・長期にわたるブルーシートの張替えへの対応
長野県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月14日から定期的に情報共有会議が開催されている、現在、週1回（毎週月

	<p>曜日)の開催となっている、全体共有後は、部会(生活支援、農業・技術系、子ども&学校連携)に分かれて課題の解決に向けて検討している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市では、避難所の集約が行われ、9か所、235名の方が避難している ・長野市災害ボランティアセンターに関して北部は12/15までは毎日開設、以降は検討していく、南部については週末型(金~月)で対応 ・JAとも連携した「信州農業再生復興ボランティアプロジェクト」の活動が実施 ・長野市では、在宅被災者の調査を実施する予定 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家屋の消毒(カビ対策) ・在宅避難者の状況が把握できていない ・週末の託児支援をしている団体がいるが、希望者が多く対応が厳しくなってきたり、子育て世代の支援も検討する必要がある
その他の地域	<p>東京都:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都災害ボランティアセンター主催で10月17日から情報共有会議を開催 ・東京都内での対応が収束に向かっていくことから、11月末から1月末までの予定で週に2回、福島県いわき市にボランティアバスを送っている

4. 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターに関する情報については、全国社会福祉協議会のホームページにて確認ください。

URL: <https://www.saigaivc.com/typhoon201919/>

5. 今後のJVOADの対応について

引き続き、JVOADスタッフならびに応援スタッフ、関係団体と連携し、各地の情報共有会議などであがった課題について共有しながら、関係団体との連携により解決に向けたコーディネートを行ってまいります。宮城県、福島県、長野県については、当面スタッフを常駐させて対応していく予定です。その他地域に関しても、引き続き出張ベースで対応してまいります。

また、各地の復興状況にも差があり、今後求められる支援も異なってきました。多様なボランティア活動も求められていますが、同時に生活再建に向けた様々な情報を住民の方に伝え、住民の困りごとを把握するために、しっかりとしたコーディネーションのもと、多様なセクターの連携がますます必要になってきています。また、広域であることから外部支援も限られています。地元のNPO等とも一緒に動けるように、JVOADとしても引き続き、多様なセクターと連携しながら対応していきたいと思っております。

以上